

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) シーピー化成株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 715-8501 岡山県井原市東江原町 1 5 1 6		
本票作成	部署名：施設開発課						
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業				
事業の概要	プラスチック簡易食品容器の製造および販売 従業員数：4 4 0 名						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	本社工場			井原市東江原町 1 5 1 6		
	②	門田工場			井原市門田町 1 0 0 4		
	③	第三配送			井原市東江原町 2 8 8 7 - 1		
	④	第二配送			井原市木之子町 3 7 0 1 - 1 3		
	⑤	第七配送			小田郡矢掛町西川面 1 0 5 - 1		
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度 (1 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	
		<input type="checkbox"/> 原単位基準								○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 6 年度)						
	19,699 t CO ₂			19,502 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	本社工場			17,667 t CO ₂					
	②	門田工場			1,710 t CO ₂					
	③	第三配送			110 t CO ₂					
	④	第二配送			170 t CO ₂					
	⑤	第七配送			42 t CO ₂					
					t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5 箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		22.880 t CO ₂ / (千ケース)	22.651 t CO ₂ / (千ケース)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

総排出量基準だと生産数量の増減にのみ影響されるので（基本生産数量増加したらエネルギー使用量も増加する）、原単位基準を選択。「省エネ法」と同じ考えで、原単位を5年間で5%削減と前年度より削減が目標。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネ活動と同じ体制で、「省エネルギー委員会」を中心に活動する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
本社工場	2015年 水銀灯をLEDに取替（成型課）年間61tCO ₂ 削減 2016年 コンプレッサ更新及び台数制御導入（成型課）年間129tCO ₂ 削減 2018年 蛍光灯をLEDに取替（第五配送）年間42tCO ₂ 削減 2018年 真空ポンプ更新及び台数制御導入（成型課）年間25tCO ₂ 削減

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
会社	照明設備を順次LED及びセンサ仕様に変更していく エアコンのコンプレッサ制御 ターボコンプレッサの集中管理 高効率変圧器の導入

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

軽量容器の開発による、輸送にかかる燃料コスト及びCO₂の削減
使用済み食品トレーの回収システムの確立
冷暖房設備の使用電力削減のためクールビズ・ウォームビズに取り組む
毎年5月に電気設備の停電点検を実施して設備の維持に努める
第七配送センターの稼働